

《編集後記》

SPring-8利用者懇談会の活動も軌道に乗り、各SGの活動もビームライン建設計画の提案に向けて盛り上がってきました。「光彩」も活動の状況をできるだけ会員の皆さんにお伝えできるようにしたいと考えています。「活動の記録と今後の予定」欄が刺激になって、会員のSPring-8の建設と利用に向けての作業がより一層進んでほしいと望んでいます。また、活動が活発になるとともに、いろいろ具体的な問題も発生してきます。「会員の声」欄では、いろいろな提言や感想の投稿を歓迎しています。

今号の編集にあたっては、多忙のため仕事のかなりの部分を多くの方にお願ひしました。ご協力いただいた方々に感謝いたします。

辻 和彦

光彩も第2号になりますが号数を重ねるにつれて多少羽目をはずしてもよいからざくばらんな記事が続々出てくることを期待します。共同チームへの注文でもよし、同類の他SGへの批判でもよし。SPring-8に結集しているSGはそこでの研究活動を目指しているわけですからその共通認識さえしっかりしていれば良いわけです。さて、学会終了後、皆さんからの原稿を整理に事務局に行ってきますか（といっても、事務局の稲垣さんが手際よく大方の処理をやっているというのが実状ですが）。

難波 孝夫

光彩 No. 2

1993年11月発行

発行 SPring-8利用者懇談会
〒650 神戸市中央区港島中町6-9-1(国際交流会館)
(財)高輝度光科学研究センター内
TEL/FAX 078-302-9595

印刷 アイテム ジャパン
〒658 神戸市東灘区深江本町3-1-6
TEL 078-413-5400 FAX 078-413-5335